

[成果情報名] 経営計画作成支援のための損益分岐点分析ツール

[要約] 本ツールは、単品目または複数の品目の組み合わせから、損益分岐点分析による経営収支の簡易分析を行い、所得や労働時間をグラフ化し、農業者の意志決定および関係機関による指導を支援する。

[キーワード] 損益分岐点分析、経営指標、マクロ、安全余裕率、経営計画

[担当] 農林技術開発センター・研究企画部門・研究企画室

[連絡先] (代表) 0957-26-3330、(直通) 0957-26-4328

[区分] 総合・営農

[分類] 指導

[背景・ねらい]

個別農業者の経営目標は、品目構成や規模等多様であり、県基準技術の指標だけでは不十分であり、任意にシミュレーションできるツールが必要である。

そこで、任意の品目の基礎データを、基準技術を利用したり独自に設定し、損益分岐点分析により評価を行うツールを作成する。

5カ年にわたる損益分岐点分析や所得、労働時間をシミュレーションすることで、農業者の意志決定や関係機関による指導を支援する。

[成果の内容・特徴]

1. 本ツールは、最大で8品目設定可能で、実績等から、共通経費の按分や労働時間など県基準技術の内容を参考に入力できる(図1)。
2. 本ツールは、Excelのマクロで半自動的に、損益分岐点分析を行い、損益分析点売上高、農業所得や損益分岐点売上数量、安全余裕率を算出し、品目ごとに評価する(図2)。さらに、販売数量や単価の変動や家族労働見積額の値を変更する機能を搭載し、経営収支を試算できる。
3. 5カ年にわたる品目の規模や単価、販売数量を設定すれば、各年の損益分岐点分析を行うとともに、農業所得、労働時間をシミュレーションできる(図3・4)。損益分岐点分析では、販売額の変動や家族労働見積額の経費算入を変更できる(図5)。

[成果の活用面・留意点]

1. 基準技術の内容を参考にできることから、農業者や市町などの経営指標の策定にあたり、作業の簡素化が図られ、内容の評価も可能である。
2. 品目の設定が容易であることから、果樹における育成、成木期間をそれぞれ品目として設定し、品種の更新に伴う経営のシミュレーションが活用可能。アスパラガス等の育成期間がある他の品目においても活用できる。

[具体的データ]

項目	経費用(任用)	経費用(入力値)	経費用(基準技術)	変動率(%)	標準率(%)
1. 物販費	1,980,199	600,000	1,849,367	100	100
13. 種畜費	8,765		8,765	100	100
14. 肥料費	56,348		56,348	100	100
15. 農薬費	83,430		83,430	100	100
16. 畜舎・厩舎費	0		0	100	100
17. 飼料費	0		0	100	100
18. 光熱費	600,000	600,000	589,168	100	100
19. 飼料材料費	109,900		109,900	100	100
20. 水料・土地改良費	0		0	100	100
21. 小農具費	2,524		2,524	100	100
22. 埴敷料及び料金	0		0	100	100
23. 労務費	81,813		81,813	100	100
24. 消毒薬費	980,330	0	980,330	100	100
25. うち種卵・種胎	963,093		963,093	100	100
26. うち大農具	17,237		17,237	100	100
27. うち大動物	0		0	100	100
28. うち大植物	0		0	100	100
29. うち定産管理機器	0		0	100	100
30. 保険・共済費	26,091		26,091	100	100
31. 課税及び公課諸負担	7,000		7,000	100	100
32. 生産管理費	5,000		5,000	100	100
33. 2. 労務費	583,510	0	583,510	100	100
34. 定率労務費補償※	493,457		493,457	100	100
35. 雇用労賃(年雇)	90,053		90,053	100	100
36. 雇用労賃(臨時雇)※	199,039	0	199,039	100	100
37. 2. 料子・指代	159,199		159,199	100	100
38. 支払い料子	0		0	100	100
39. 支払い地代	31,840		31,840	100	100
40. 畜舎家賃料子	0		0	100	100
41. 自作地代	8,000		8,000	100	100
42. 4. 販売経費	832,650	0	832,650	100	100
43. 運賃・出荷経費	266,500		266,500	100	100
44. 運賃	195,000		195,000	100	100
45. 手数料	371,150		371,150	100	100
46. 5. 固定費・変動費計	3,575,398	600,000	3,564,566	100	100

図1：各品目入力画面（基準技術を参考値に、変更する項目のみ入力）

損益分岐点分析シート

品目名→ **ハウスびわ早期**

単位 10a

単位当たり費用	1,980,199 円
1. 物販費	583,510 円
2. 労働費	493,457 円
3. 料子・地代	199,009 円
4. 販売経費	832,650 円
5. 固定費・変動費計(変動費を除く)	3,081,941 円

生産費 2,543,709 円
 支払料子・地代算入生産費 2,702,808 円
 全算入生産費 2,742,748 円
 農業経営費(含も販売経費) 3,042,104 円
 売上高 4,571,851 円
 固定費(家族労働見積額除外) 1,217,460 円
 変動費(家族労働見積額除外) 1,894,481 円
 農業所得 1,529,250 円

（品目入力による損益分岐点分析）
 損益分岐点売上高 2,056,041 円
 損益分岐点売上数量 833
 利益額 1,488,410 円
 損益分岐点安全余裕率 55.0%
 (判定の目安) 安泰

（オプション）販売量と販売単価(価格変動)分析
 販売量(10a本:300) 1,653
 販売単価 2,467 円
 販売金額 4,571,851 円
 (うち副産物及び補償金等) 0 円

（オプション）加味損益分岐点分析
 損益分岐点売上高 2,056,041 円
 損益分岐点売上数量 833
 利益額 1,488,410 円
 損益分岐点安全余裕率 55.0%
 (判定の目安) 安泰

40%以上 安泰
 25~40% 健全
 15~25% 普通
 7~15% 要注意
 7%未満 危険

図2：各品目の損益分岐点分析

(販売数量・単価変動、家族経営労働見積額経費除外機能あり)

損益分岐点分析シート(経営全体)

品目名	規模	単位当たり費用
品目1 ハウスびわ早期	20 a	12,693,350 円
品目2 ハウスびわ	10 a	9,000,127 円
品目3 露地びわ	80 a	6,588,705 円
品目4 早生温州	40 a	1,133,865 円
品目5 不知火	40 a	895,462 円
品目6 導入品目外	40 a	14,592,721 円
品目7 幸水無袋	40 a	35,347,422 円
品目8 豊水	80 a	13,670,691 円
		17,817,833 円
		12,381,158 円

（経営全体の総売上金額）
 販売金額 35,347,422 円
 販売単価 6.5%

（損益分岐点分析）
 損益分岐点売上高 20,393,038 円
 利益額 4,659,599 円
 損益分岐点安全余裕率 25.4%
 (判定の目安) 健全

（オプション）加味損益分岐点分析
 損益分岐点売上高 20,393,038 円
 利益額 4,659,599 円
 損益分岐点安全余裕率 25.4%
 (判定の目安) 健全

シートを開いて入力画面へ戻る
 シートを開いて年度別損益分岐点を見る
 シートを開いて名前を付けて保存
 このシートを印刷する(プリンタへ印刷)

図3：各年の損益分岐点分析（経営全体）

(販売金額変動、家族労働見積額経費除外機能あり)

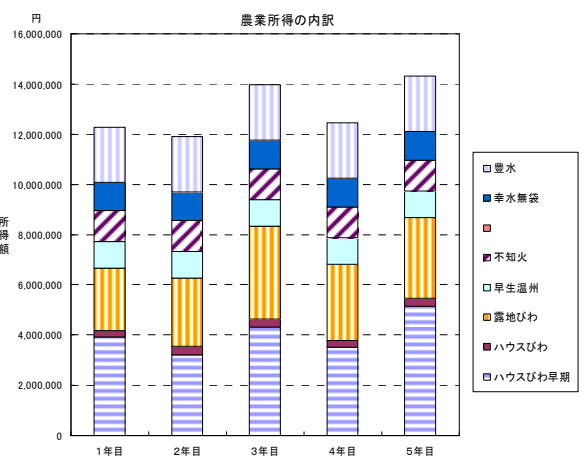


図4：5年間の品目別農業所得グラフ

月別労働時間(5年目)

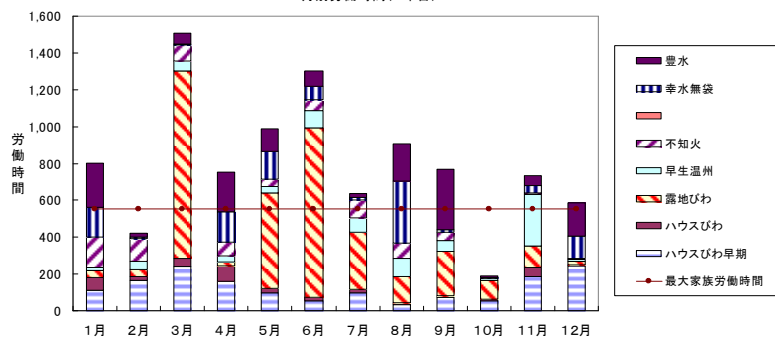


図5：月別労働時間グラフ（ラインは設定した家族労働時間上限）

[その他]

研究課題名：びわ産地の復興と経営再建のための営農計画策定・評価手法の開発

予算区分：県単

研究期間：2008~2010 年度

研究担当者：清水一也、土井謙児